労働時間の削減に向けた取組みについて
～事例紹介～

2018年2月

株式会社 HDC
システム管理部
山本　祐司

レジュメ

1．会社概要

2．組織体系

3．弊社の取組みについて
(1)プロジェクト管理
(2)生産性向上
(3)時間管理の徹底

4．まとめ

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

１．会社概要

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

1. 会社概要

社　名　：株式会社　ＨＤＣ

本　社　：北海道札幌市中央区南１条西１０丁目２番地
南１条道銀ビル

設　立　：昭和４６年　３月

資本金　：７，５００万円

従業員　：３７７名（平成２９年４月１日時点）

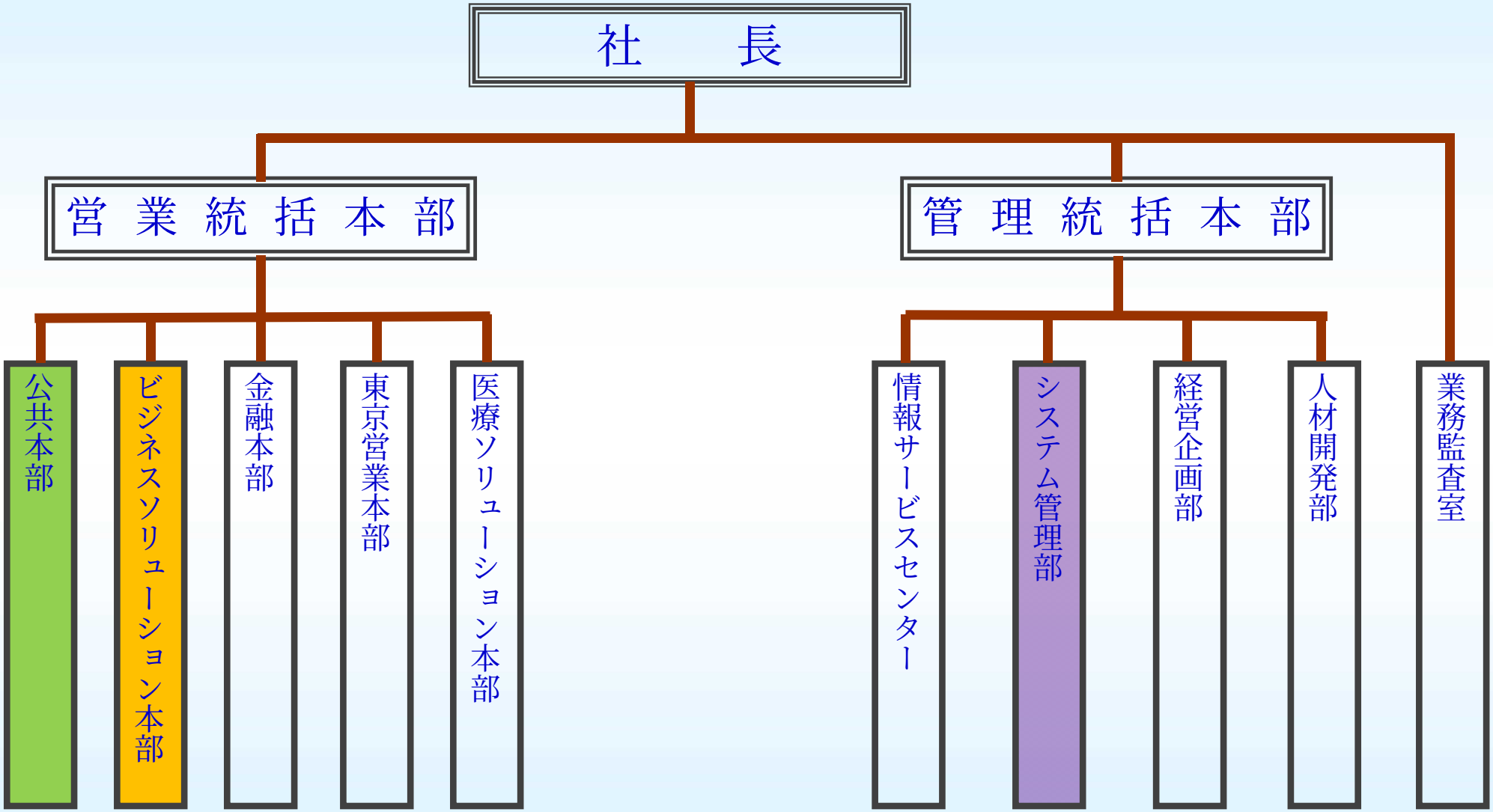
事業内容：ソフトウェア開発、システムコンサルティング、
システム・ネットワーク設計、他

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

２．組織体系

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

2. 組織体系



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

３．弊社の取組みについて

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(1)－1

(1)プロジェクト管理：システム管理部の立場

①見積検討会議の実施

・個別商談としての可否と工数の妥当性の確認を行う。

⇒　対象部門よりその商談及び見積内容の報告を受け、顧客要求事項に対する、見積工数・体制・スケジュール・採算性の確認を行う。

②重点プロジェクト会議の実施

・プロジェクトの進捗管理、工数管理、体制、課題管理の監視を行う。

⇒　毎月、指定したプロジェクトの状況報告を受け、詳細ヒアリングし、問題等があれば、その対応策等の指示を行う。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(1)－2

③システム部長会議の開催

・各部の開発・導入作業の進捗報告により、各システム部長、管理統括本部長、営業統括本部長を交え、問題等の対策検討や、部門間要員調整などの対応を行っている。

・障害発生による、労働時間増大を防ぐことを目的に、手順書等、高い水準での対策に向け、取り纏めを行っている。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて （2）－1

(2)生産性向上：自治体様向け弊社パッケージ保守の場合

①顧客の課題

・国が定めた法改正対応を施行日に確実に行う必要がある。

＜弊社課題＞

・施行日までに確実にシステムを提供する必要がある。

・国からは大枠の指針は提示されるが、直ぐには詳細まで決まらないため、システムの仕様を固めることが難しい。

・機構改革等により前部署から異動となるが、前任者から十分業務引継ぎを受けていないことにより、業務遂行上で一抹の不安がある。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(2)－2

②施策－１：情報入手のスピードアップ

・常日頃より、新聞報道・ニュース・国の機関が発信しているホームページ掲載情報の変化を捉える。

・国からの指針を基に、弊社提供システムに対する改修内容として、十分な検討を行った後、改修案として策定する。

・各市町村原課（原局）ご担当者様にご提示し、齟齬が発生していないかの確認を行い、システム改修を進めて行く。

・手戻りの少ない、システム開発が可能となる。

・納期（法施行日前迄）に間に合わせることが可能となる。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(2)－3

③施策－２：業務スキルの向上

・各市町村原課（原局）様への顧客訪問時、システム操作説明により、ご担当者様に業務知識を習得していただき、弊社提供システムの習熟度アップを図っていただく。

・業務に精通したＳＥにより、社内教育拡充を図る。

↓

・システム操作方法の誤り（データ入力方法の誤り）を少なくすることが可能となる。
（サポート工数削減に結び付く。）

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(2)－4

(2)生産性向上：印刷業のスクラッチ開発の場合

①弊社課題

・受注後、各部門からの要望事項が増加し、各部門代表者に於いても精査しきれなかったことから、現状の業務実態把握が必要。

②施　策

・工場見学により、現状分析と要望事項の精査を行った。

③効　果

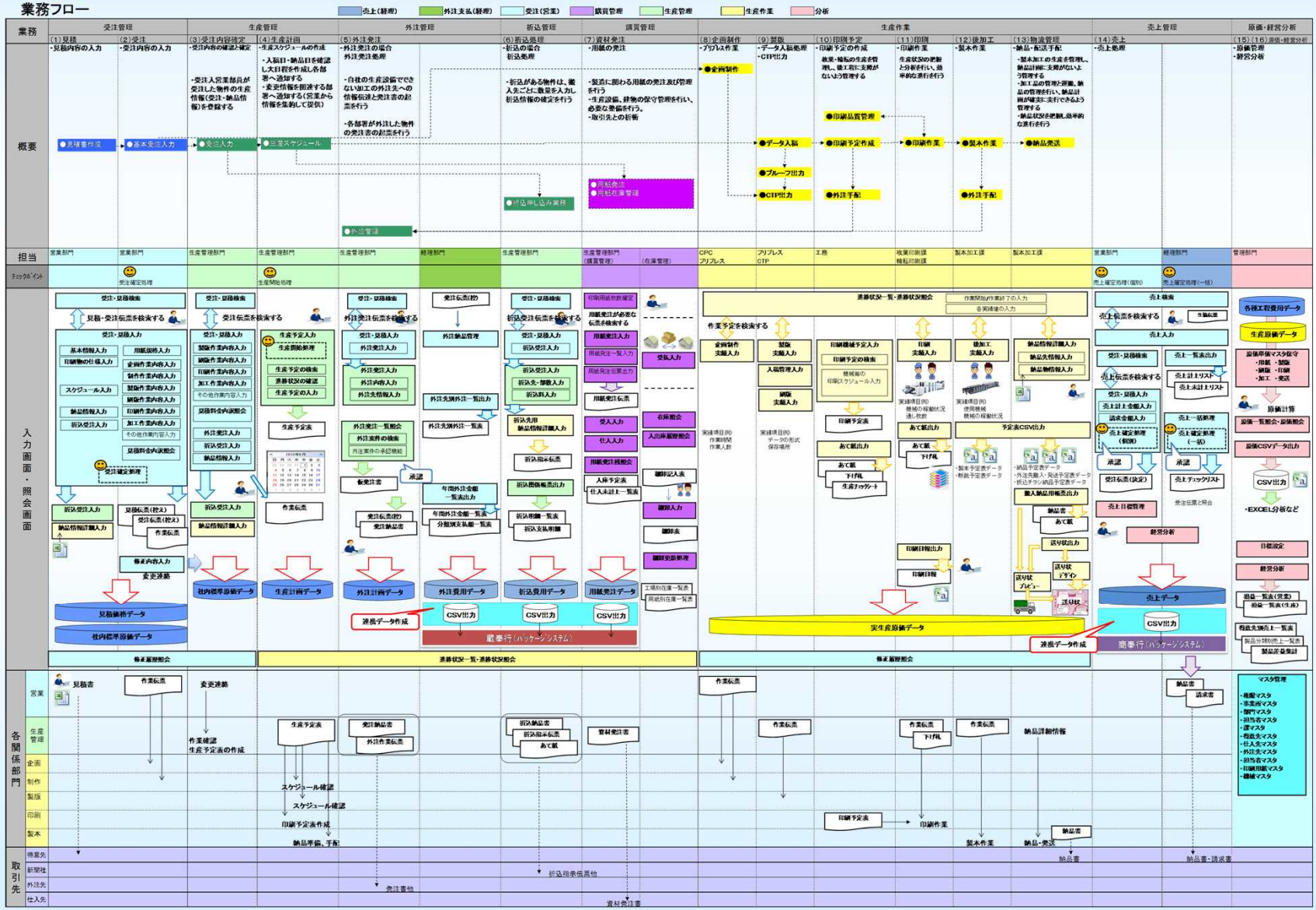
・各部門間要望事項の整合性を図り、不要な要望事項を抑えることが出来た。

・各工程毎に於けるインプット（データ・仕様など）とアウトプット（成果物、次工程への指示書など）を明確化させた「業務フロー」を作成することで、以降のお打ち合わせに於いてもかなりの工数圧縮を図ることが出来た。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて （2）－5

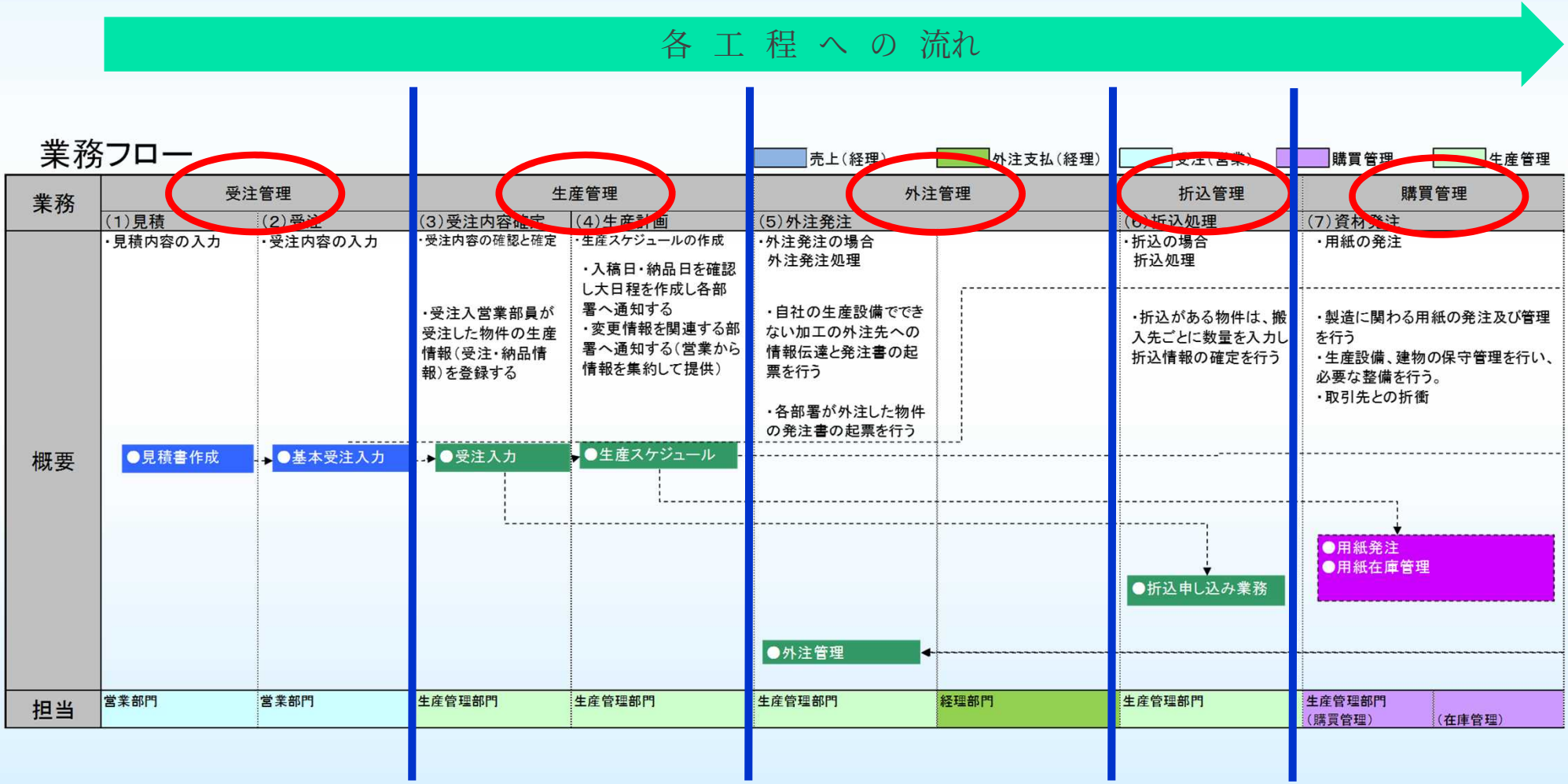
④業務フロー：



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて （2）－6

⑤業務フロー：一部拡大



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(2)－7

⑥顧客効果：

・客様の生のお声を反映した動画を、弊社ホームページにて公開中！！　（YouTubeへリンク）

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－1

(3)時間管理の徹底　：インフラ部門

①課題－１

・体が不自由なことにより、会社迄の通勤が困難な社員に対し、仕事の進め方を検討する必要がある。

・育児や親の介護が必要となる社員に対し、自宅勤務を可能とする、仕事の進め方を検討する必要がある。

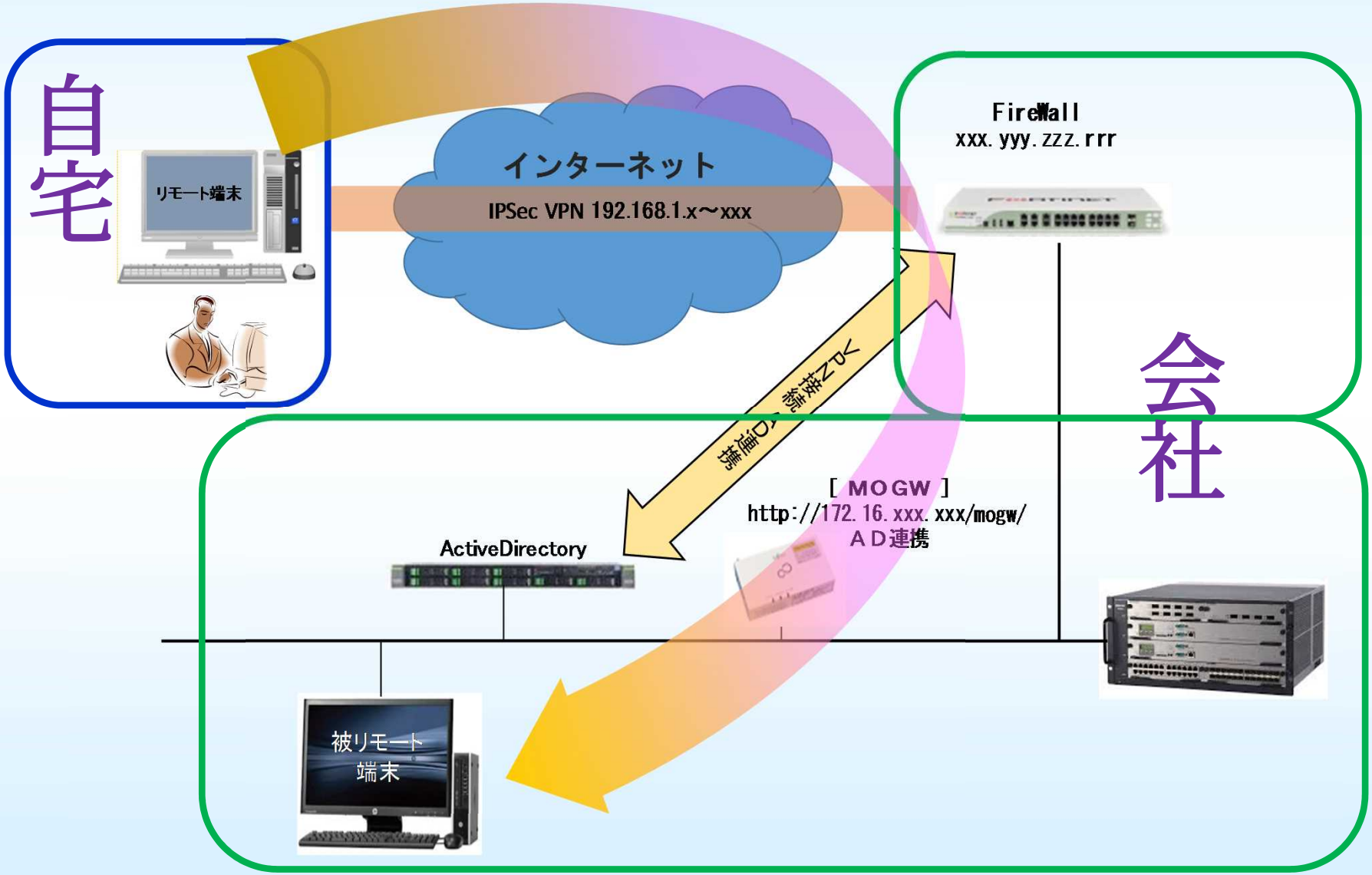
解決策

テレワークの実施！！

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－2

【テレワーク】：運用イメージ図



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3．弊社の取組みについて　(3)－3

②効　果：

・自宅に居ながらにしてプログラム開発等、通常業務が可能。

・ＴＶ会議・チャットツールを通じて、作業進捗確認や重要事項の連絡などが可能。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－4

③課題－２：勤怠管理システムへの入力を失念することにより、管理者側での時間管理を厳格に運用出来ていない。

勤務先：HDC標準勤務　　勤務先確定　　始業・終業時刻管理簿　兼　超過勤務命令簿　　平成 30 年 2 月

勤務時間：8:45～17:30　　自動計算停止　　計算実行　　計算式再設定

所属：システム管理部　　資格：部　長　　社員番号：186019　　氏名：山本　祐司　　通常版 V01L22

日	曜	始業 区分	始業 時刻 時	始業 時刻 分	終業 区分	終業 時刻 時	終業 時刻 分	確認印 本人	確認印 管理者	確認印 責任者	所定内労働時間	超勤命令など 開始時刻 時	超勤命令など 開始時刻 分	超勤命令など 終了時刻 時	超勤命令など 終了時刻 分	超勤事前命令印 管理者	命令事項又は勤怠事由	休憩なし（分）	私用外出（分）	超勤時間数（単位：分） 普通 1.0部分	普通 1.25部分	普通 1.5部分	深夜 1.5部分	深夜 2.0部分	休日 1.5部分	休日 2.0部分	明け 0.25部分	累計（分）	法定休日 1.5部分	法定休日 1.6部分	週40h割増 0.25部分	深夜割増 0.5部分
1	木		8	45		17	30	山本 確認済	未確認	未確認	07:4					命令前				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
2	金		8	45		17	30	山本 確認済	未確認	未確認	07:4					命令前				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
3	土		13	00		19	30	山本 確認済	未確認	未確認		13	00	19	30	山本 命令済	社内管理作業(JISAセナー報告資料精査)				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
4	日							未確認								命令前					#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
5	月		8	45		21	00	山本 確認済	未確認	未確認	07:4	18	00	21	00	山本 命令済	社内管理作業(JISAセナー報告資料精査)			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
6	火		8	45		17	30	山本 確認済	未確認	未確認	07:4					命令前				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
7	水		8	45				未確認								命令前					#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
8	木							未確認								命令前					#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
9	金							未確認								命令前					#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
10	土							未確認								命令前					#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3．弊社の取組みについて　(3)－5

④解決策－２

・社員の労働時間を適正に管理出来る仕組みの構築。

（個人一人に集中する超過勤務の抑制 ⇒ 属人化した業務解消）

（サービス残業の解消、不必要な超過勤務を認めない）

↓

自動アラートメッセージ出力を活用！！

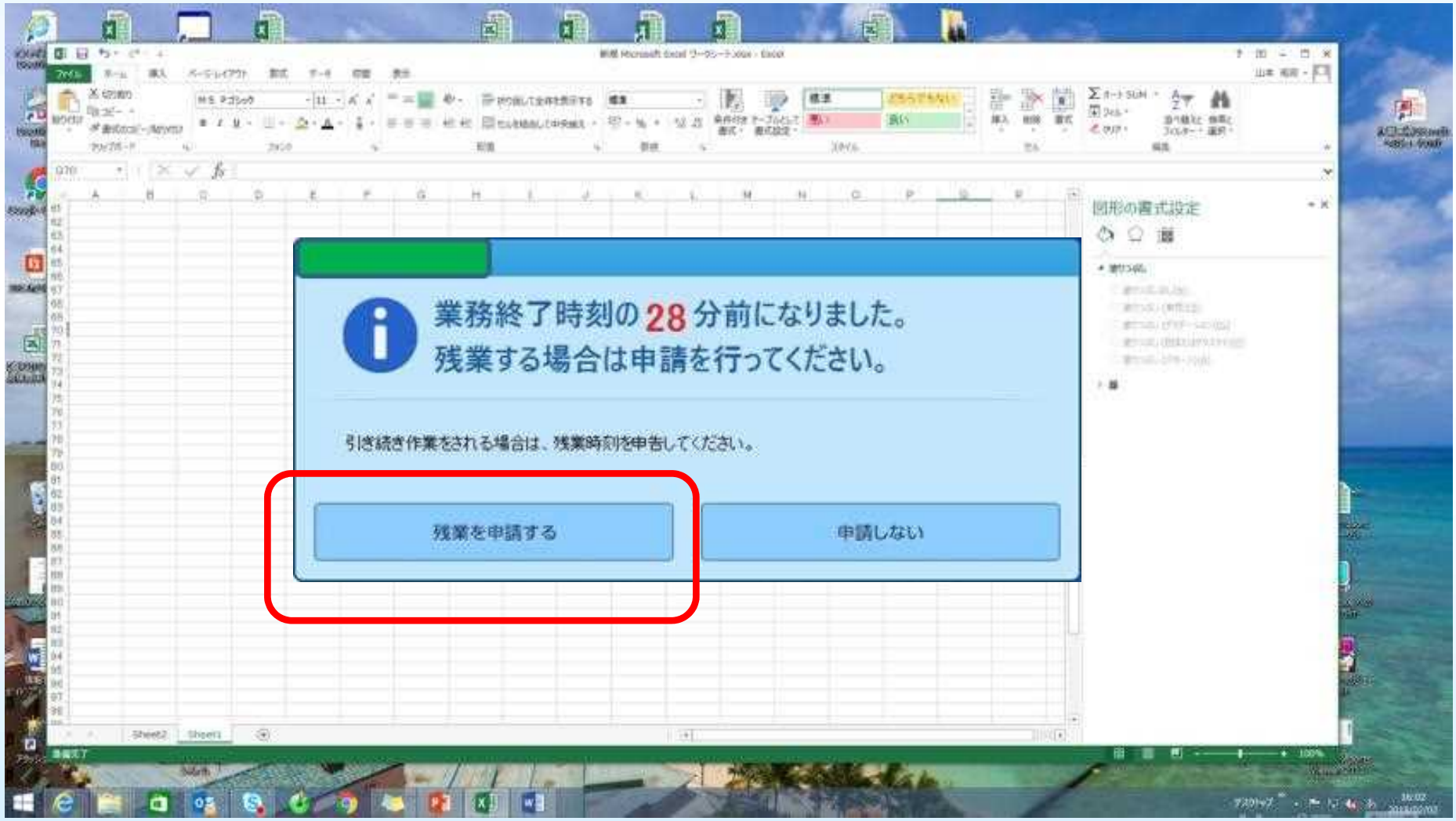
↓

超過勤務実態の監視！！

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－6

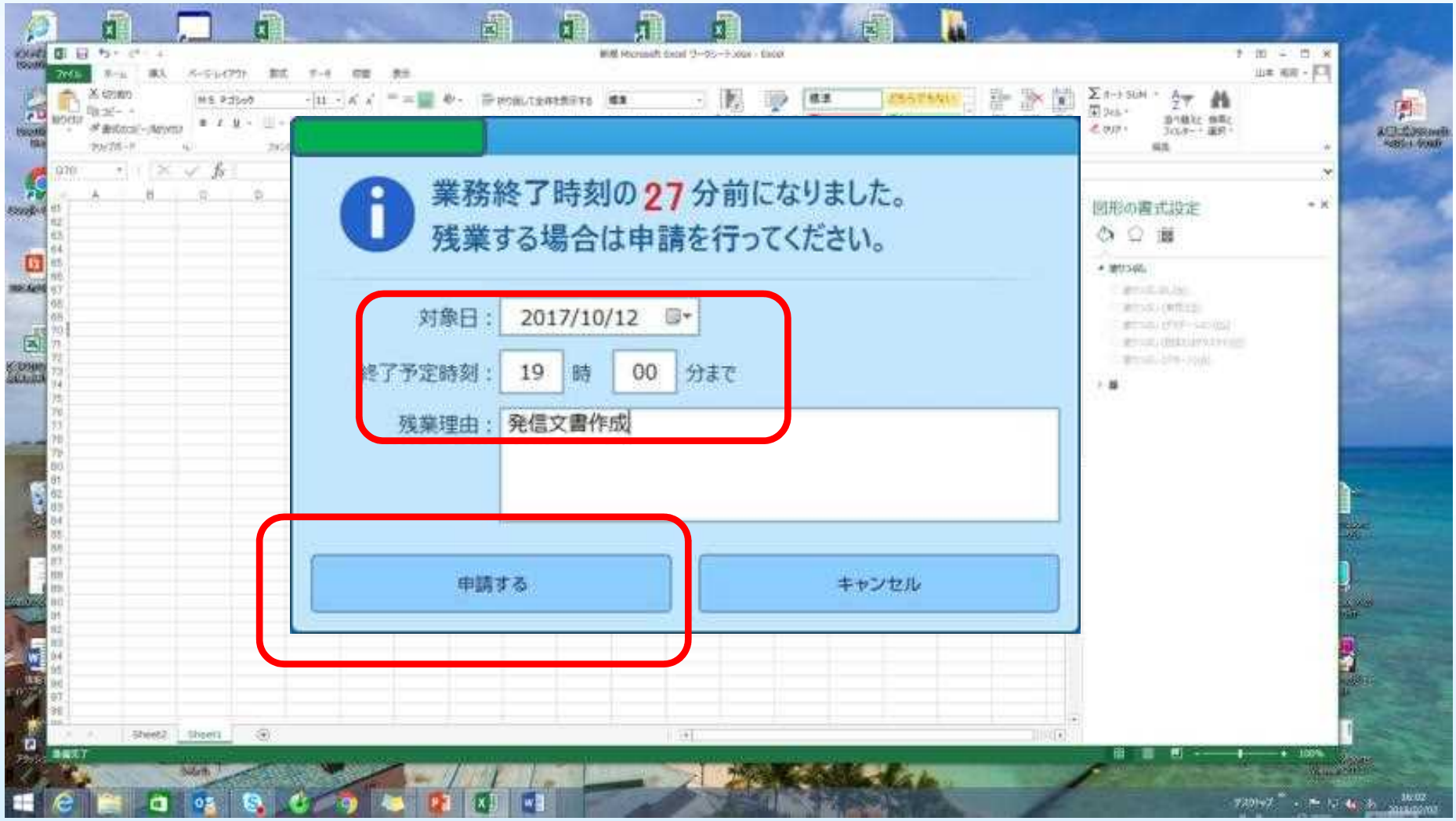
【メッセージ１】：業務終了時刻３０分前にメッセージを出力する。



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－7

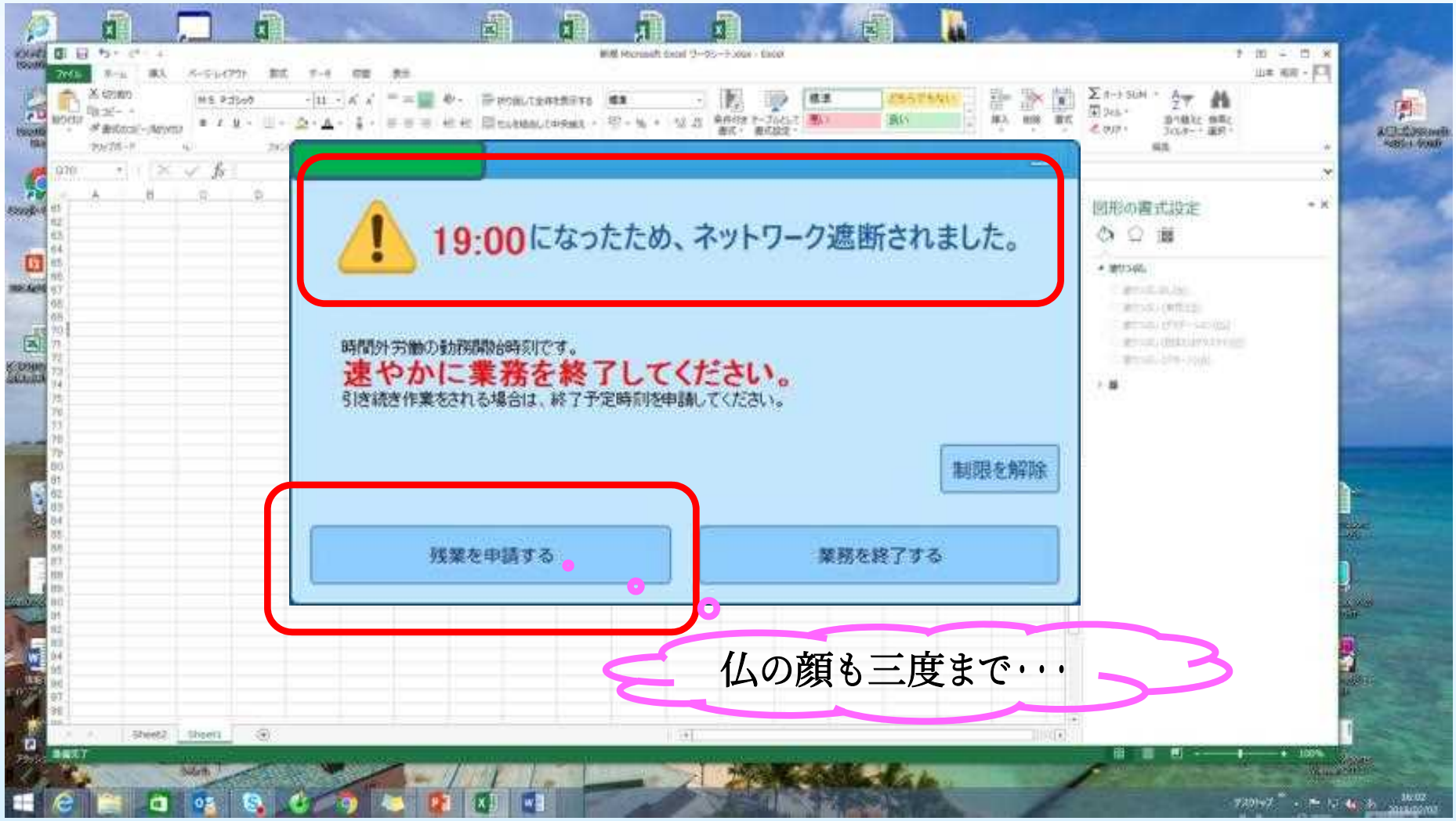
【メッセージ２】　：残業終了予定時刻を入力させる。



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3. 弊社の取組みについて　(3)－8

【メッセージ３】　：残業終了予定時刻にネットワーク遮断メッセージを出力する。



All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

3．弊社の取組みについて　(3)－9

④効　果：各システム部長からのヒアリング結果

・業務終了後、電車の時間調整で残っていた人が、帰宅する様になった。

・定時退社日（毎週水曜日）には、退社するように促さなくても、
各自退社する様になった。

・１８時３０分頃に退社していた社員が、１８時００分ぎりぎりで慌ただしく帰宅準備するようになった。
（弊社：１７時３０分～１８時００分迄は休憩時間として設定している。）

<監視体制>

・業務監査室にて、事務所の入退出ログと勤怠管理システムへの入力実績突合を行い、差異が発見された場合は、その理由を直接ヒアリング行い、内容により厳重注意・指導を行っている。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

４．まとめ

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

4. まとめ

(1)プロジェクト管理：

目的を持った会議体の開催を行う。

・大規模プロジェクト等のリスクヘッジ（解消と減少）

・システム部門に於ける問題の共有化、部門間の相互扶助など

(2)生産性向上：

①手戻りを起こさない為に、仕様確認を徹底する。

（自分なりの解釈で進めない。）

②一回で仕様確認出来ないものについては、段階的に確認を行う。 ・開発期間の分散化、納期遵守が可能。

(3)時間管理の徹底：

自動アラートメッセージ出力により、時間に対する個人意識を高め

・超過勤務過多、サービス残業の解消が可能。

All Rights Reserved, Copyright©HDC Corporation , 2018

私達は、人と人とのつながりを大切にし、

夢をもって技術を高め、地域発展に貢献します。

ご清聴ありがとうございました。

株式会社 HDC